

平成 30 年度

事業報告書

 社会福祉法人大崎市社会福祉協議会

事業総括報告書

地域福祉活動計画〔第2期〕における7つの重点目標を掲げ、誰もが住み慣れた地域において安心して生活できるよう、潜在化している多様なニーズを取り上げ、地域の自主的な福祉活動を支援するとともに、地域福祉の課題把握と具体的な活動に取り組みました。

地域福祉活動計画 ～地域づくりレインボープラン～

『ひとびとの心ふれあう地域づくり』～地域の絆と支え合い～

- ①ふれあいと支え合いによる何にでも参加できる新たな地域づくり
- ②ひとびとの絆をつくるボランティアの養成
- ③支え合いを具体化する地域見守りネットワークの構築
- ④ふれあいと笑顔があふれる世代間交流の推進
- ⑤地域づくりに向けた関係団体の交流
- ⑥地域づくり推進のためのひとづくり
- ⑦活動展開のための拠点づくり



1. 法人運営事業

法人運営における理事会、評議員会、監事会を実施するとともに、広報誌の発行やホームページを活かした情報発信により、地域住民に本会事業への理解を深めていただき、本会の事業実施状況・経営状況を的確に把握し、地域住民のニーズに合わせた地域福祉事業の推進、併せて安定かつ効率的な事業実施や法人経営を目指して、下記の法人運営事業を推進しました。

- (1) 理事会 ・・・年間 7 回開催
 - ・ 本会業務執行の決定及び理事の職務の監督機関として設置。
- (2) 評議員会 ・・・年間 4 回開催
 - ・ 適切な経営の意思決定が行われる、必置の最高意思決議機関として設置。
- (3) 監事会 ・・・年間 8 回開催
 - ・ 理事の職務執行・財産状況の監査などの監査機関として設置。

(4) 会計監査人による監査業務

・・・年間 25 回実施

- ・社会福祉法人制度改革（平成28年改正社会福祉法）で、主に①経営組織のガバナンスの強化②事業経営の透明性の向上③財務規律の強化④地域における公益的な取組を実施する義務⑤行政の関与の在り方が改正されました。ガバナンス強化の一環として、一定規模以上の法人に対して、会計監査人の監査によって、計算書類等の適性を証明することにより、計算書類等の信憑性を担保され、経営の透明性が向上、経理業務体制などの強化が図られた。

(5) 大崎市社会福祉大会

- ・社会福祉活動に功績のあった方々に対して感謝状や表彰状を贈呈し表彰するとともに、地域福祉活動の啓蒙を促進することを目的として開催。

・・・年間 1 回開催

表彰状贈呈者・・・22名・ 2団体

感謝状贈呈者・・・47名・1組8団体

(6) 委員会等事業

1) 役員等に関わる委員会事業

・・・年間 2 回開催

- ・理事・監事選考委員会、評議員選任・解任委員会の開催。

2) 特別養護老人ホーム入所判定委員会

・・・年間 3 回開催

- ・本会が運営する特別養護老人ホームの入所申込に関する基準及び入所決定過程の透明性及び公平性を確保するため、入所判定委員会を開催。

3) 虐待等防止委員会

・・・年間 1 回開催

- ・本会福祉サービス利用者の安全と権利を擁護する観点から、虐待等の防止に関する取り組みを推進することを目的として開催。

4) 支所長等会議

・・・年間 12 回開催

- ・各支所等の経営状況や事業状況などの情報交換及び情報共有を行い、各支所等の経営並びに運営の改善などを図ることを目的として開催。

(7) 職員研修事業

1) 法人全体研修

・・・年間 5 回開催

- ・全職員、主任級職員・管理職等階層別を対象に、役割に応じた業務内容を理解し、主に職員間のコミュニケーション技法、セルフケア方法の修得、心の健康づくり等を目標にした職場の活性化、人材育成を図ることを目的として開催。

2) 法人外部研修

・・・年間 320 回参加

- ・地域福祉関係、介護技法、苦情対応、認知症、災害ボランティア関係等の各種研修会に参加し、業務改善やサービスの向上を目指した人材育成を図ることを目的として参加。

- 3) 法人内部研修 ・ ・ ・ 年間 291 回開催
・ 各事業所等において、専門的知識・技術の修得、職員間の交流、情報共有の機会とした各種研修会を実施し、業務改善、サービスの向上を目指した人材育成を図ることを目的として開催。

(8) 広報誌発行事業

- 1) 「大崎市社協だより」の発行〔本所〕 ・ ・ ・ 年間 2 回 107,200部
・ 各地域福祉事業の周知や小地域福祉活動の構築を目指して発行。
- 2) 「ボランティアセンターだより」の発行〔本所〕※社協だより誌内掲載
・ ・ ・ 年間 2 回 107,200部
・ ボランティアが参加しやすい町づくりを目指して発行。
- 3) 「おおさき福祉のページ」の発行〔本所〕 ・ ・ ・ 年間 6 回
・ 地域への社協情報の周知を目指して大崎タイムス新聞紙面にて発行。
- 4) 「支所だより」の発行〔各支所〕 ・ ・ ・ 年間 30 回 163,352部

(9) ホームページ運営事業

・ ・ ・ 延べアクセス件数 98,726件

- ・ 本会福祉サービス事業、ボランティアセンター活動、共同募金事業情報等のホームページへの更新により、市内住民に留まらず、より多くの方々に対する社協事業の啓発と情報発信・公表を行い、事業への理解促進を図ることを目的として実施。

(10) 外部機関交流事業

・ ・ ・ 年間 1 回 14名受入

- ・ 大崎市議会民生常任委員会所管事務調査視察の受入を実施。

(11) 災害時応援職員派遣事業

・ ・ ・ 年間 49 回 延べ68名派遣

- ・ 「平成30年7月豪雨」の発生に伴い、広島県広島市、愛媛県宇和島市に対する本会職員の派遣を実施。

2. 地域福祉事業

「地域福祉活動計画〔第2期〕」における「ひとびとの心ふれあう地域づくり」のもとに、ふれあいと支え合いの地域づくりを念頭に、各地域における福祉サービスの充実を目指して取り組みました。

(1) 地域福祉推進委員会

- 1) 地域福祉推進委員会〔各支所〕 ・ ・ ・ 年間 25 回開催
・ 各支所に地域福祉推進委員会を設置し、地域での福祉的課題に対する情報共有、地域福祉活動計画〔第2期〕における支所事業の方向性などについて協議検討の機会とするとともに、移動研修会等を開催。

- 2) 地域福祉推進委員会委員長会議〔本所〕・・・年間 2 回開催
・ 本会理事・監事・評議員候補者の役員等選考委員会について協議。

(2) 社会福祉協力員活動推進事業

- 1) 社会福祉協力員活動会議〔各支所〕・・・年間 10 回開催 延べ750名
・ 地域と社会福祉協議会を繋ぐ重要な役割として、各地域に社会福祉協力員を委嘱し、地域福祉活動の推進を担うとともに、地域福祉活動の実践に向けた研修会等を開催。

(3) ボランティア活動推進事業

- 1) ボランティアセンター運営事業〔本所〕・・・年間 1 回実施 16名参加
・ 本会職員やボランティア団体を対象とした「災害ボランティアコーディネーター育成研修会」の開催を通じて、ボランティアセンター事業を適切に運営していくことを目的として実施。
- 2) ボランティア団体支援事業〔本所・各支所〕・・・通年随時実施
・ 大崎市ボランティア連絡協議会及び各地域ボランティア連絡協議会・友の会等の市内ボランティア団体に対して、ボランティア活動の活性化を図ることを目的として活動支援を実施。
- 3) ボランティア団体助成事業〔古川・松山・三本木・鹿島台・鳴子・田尻〕
・・・市内 40 団体
・ 市内ボランティア団体の活動推進を目的として活動助成を実施。
- 4) ボランティア保険加入受付事業〔各支所〕
・・・年間 129 件受付 年間 3,294 名加入
・ 保険の加入促進を通してボランティア活動が活性化し、安全・安心なボランティア活動に繋げていくことを目的として実施。
- 5) ボランティア養成事業〔松山・鳴子・田尻〕
・・・年間 14 回開催 延べ116名参加
・ 仲間づくりと社協事業・ボランティア活動に対する理解促進を図り、ボランティア団体への加入促進と次世代のボランティアを養成することを目的として開催。
- 6) 福祉人材育成（シニア層）事業「ボランティア養成講座」〔鹿島台〕
・・・年間 12 回開催 延べ94名参加
・ 60歳以上の男性を中心に、生きがいづくりを兼ねた次世代のボランティアを養成することを目的として開催。

7) 福祉人材育成（青年層）事業〔鹿島台〕

・・・年間 1 回実施 175 名参加

- ・鹿島台中学校が実施する進路学習に講師として職員を派遣し、生徒に福祉の仕事および社会福祉について興味や関心を促し、福祉学習等を推進していくことを目的として実施。

8) ボランティア推進大会事業〔松山〕

・・・年間 1 回開催 36 名参加

- ・ボランティア活動の活性化を図ることにより、市民活動の機運を盛り上げることを目的として開催。

9) 福祉のつどい事業〔松山〕

・・・年間 1 回開催 104 名参加

- ・松山支所とともに地域福祉事業を推進する地域住民や福祉関係団体、ボランティアに対して、日頃の活動に感謝を表するとともに、関係者同士の連携強化を図ることを目的として交流会を開催。

10) ボランティア感謝の集い事業〔鹿島台〕・・・年間 1 回開催 70 名参加

- ・ボランティア活動に対する感謝を表するとともに、ボランティア同士の交流を通じて更なる活動意欲の向上を図ることを目的として、特別養護老人ホーム敬風園と鹿島台支所の共催にて開催。

11) ボランティアふれあいまつり事業〔田尻〕

・・・年間 1 回開催 約300 名参加

- ・田尻地域の住民に対して社協事業やボランティア活動の紹介を通じて、地域福祉事業やボランティア活動への理解促進を図ることを目的として開催。

12) かごぼう山クリーン運動事業〔田尻〕・・・年間 1 回実施 51 名参加

- ・加護坊山の頂に至る道路のゴミ拾いを通じて、地域住民同士の交流を促進することを目的として実施。

(4) 災害ボランティア活動推進事業

1) 災害ボランティアセンター体制整備事業〔本所〕

・・・通年随時実施

- ・災害ボランティアセンターに要する資材を定期的に整備及び入替を通じて、同センターの設置時を想定し、備えることを目的として実施。

2) 災害ボランティア活動推進事業〔松山・三本木・岩出山・鳴子・田尻〕

・・・通年随時実施

- ・災害時における地域住民と社協、関係機関等とが連携していくことの大切さを再確認し、災害ボランティア活動に対する意識を高めることを目的として、研修会等を実施。

(5) 調査・研究事業

- 1) 地域福祉活動計画推進事業〔本所・各支所〕
・・・年間 2 回開催
・地域福祉活動計画〔第2期〕に掲げる計画内容についての進捗状況について確認をするとともに、現時点での地域にあった事業計画への見直しも視野に入れながら、複雑多様化する地域の福祉課題に対して中長期的な視点でもって地域福祉活動に取り組んでいくことを目的として、各支所担当者による実務担当者会議を開催。
また、今年度は地域福祉活動計画〔第3期〕の策定に向けたスケジュール等の検討についても併せて実施。
- 2) 社会福祉調査事業〔松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕
・・・各地域年間 1 回程度実施
・大崎市民であって支援または援護を必要とする世帯等について、民生委員等の協力を得ながらその実態を把握し、歳末たすけあい配分事業などの支援事業実施に繋げることを目的として実施。
- 3) 福祉アンケート調査事業〔松山・三本木・鹿島台・岩出山〕
・・・通年随時実施
・各支所で実施している地域福祉事業に関することや小地域福祉活動の実施状況などのアンケートを実施したうえで、実施した内容を住民に対して周知を図るとともに、地域福祉事業に反映させていくことを目的として実施。

(6) 総合的な相談事業

- 1) 生活困窮者自立支援体制整備事業〔本所・各支所〕
・・・年間 2 回実施 延べ14名参加
・生活困窮者支援を通じた地域づくりへ向けて、各機関（市・社協・相談支援事業所）が持つ専門性のみに特化することなく、他の社会資源と繋がり、包括的な支援を展開することで、事業対象者に対する支援体制を構築していくことを目的として、連絡会議へ各機関と共に参加。
- 2) 総合的な相談窓口事業〔各支所〕
・・・年間 107 件実施
・多種多様にわたる福祉課題を抱え、窓口を訪れた住民に対し社協が提供できる福祉サービスや関係機関と連携を図りながら相談支援を実施。

(7) 小地域福祉活動支援事業

- 1) 小地域福祉活動支援事業〔古川・松山・三本木・鹿島台・田尻〕
・・・年間 152 事業助成
・地域を拠点として、高齢者や地域住民、ボランティアが自主的に企画や内容などを話し合い、サロン活動や仲間づくりを進めていけるよう活動支援や活動助成を実施。

- 2) 支部社協・地区福祉会支援事業〔古川・岩出山〕
・・・年間 10 支部・5 地区福祉会実施
・支部社協や地区福祉会が行う活動に関して、自主的な事業活動を展開する組織を育成すると共に、地域の方々がともに支え合う地域福祉活動の推進を図ることを目的として、支援及び助成を実施。
- 3) 地域との連携強化事業〔古川・岩出山〕
・・・通年随時実施予定
・支所職員が積極的に地域に出向いてコミュニケーションを図り、小地域福祉活動推進のための連携・協力へとつなげるとともに、地域リーダー等と職員の信頼関係やつながりづくりを目的として実施。
- 4) 地域防災研修事業（ふくし防災のつどい）〔古川〕
・・・年間 1 回開催 約 250 名参加
・事業を通して「自助」「共助」に対する意識を高めるとともに、学生ボランティア等が活躍できる機会を提供することで、福祉人材の育成を目的として開催。
- 5) 防災のまちづくり支援事業〔鹿島台〕
・・・年間随時実施 10 行政区
・地域での防災活動への支援や防災資機材等の整備に対する助成を実施。
- 6) いきいきふれあいサロン推進事業〔岩出山〕
・・・年間 109 回実施 延べ 1,241 名参加
・岩出山地域の集会所を主な会場として、自主的に開催される「ふれあいサロン事業」を支援していくことを目的として実施。
- 7) 福祉出前講座〔古川・松山・三本木・鹿島台・鳴子・田尻〕
・・・年間 144 回実施
・地域で実施される事業等へ出向き、地域住民に対して福祉に対する理解を促進するとともに、地域の中で自主的に活動できるサロン協力者や地域リーダー等の福祉人材を養成し、より地域に根ざした福祉活動を展開していくことを目的として実施。
- 8) 福祉用具貸出事業〔各支所〕
・・・年間 190 件実施
・けがや病気のため、一時的に車椅子等の福祉用具が必要になった方への貸出や、地域や学校で行われる福祉事業に各種用具の貸出しを実施。
- 9) 福祉車両貸出事業〔岩出山〕
・・・年間 46 件実施
・町内会行事等のうち地域福祉の推進へと繋がる行事に対して、多くの住民が参加できるように、マイクロバスの貸し出し事業を実施。

(8) 地域交流事業

- 1) 世代間交流事業〔松山・三本木・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕
・・・年間 7 回開催 延べ1,729名参加
・児童や高齢者、障害者等の様々な世代の住民が事業参加を通じて、互いの知識、経験、価値観等を共有することで住民相互による「福祉のまちづくり」に繋げていくことを目的として開催。
- 2) 福祉のつどい事業〔三本木〕・・・年間 1 回開催 476名参加
・社協と関わりの深い各種団体（区長会・民児協・ボランティア・地域団体等）との連携により「福祉のまちづくり」を推進することを目的として、住民だれもが参加できる「つどい事業」を開催。
- 3) 地域交流事業「チャレンジスクール」〔鹿島台〕
・・・年間 1 回実施 34名参加
・鹿島台公民館と連携して、福祉防災学習体験を通し支えあうことの大切さを学び、将来の福祉人材育成を目的として実施。
- 4) あったか村地域ふれあい事業（フラワーロード植栽事業）〔岩出山〕
・・・年間 2 回実施 延べ180名参加
・旧岩出山町時代より、福祉地域施設拠点として区画整理された「あったか村」の景観を整える活動を通して、施設と近隣住民との交流、連携強化を促進し、当該地域の福祉基盤を構築していくことを目的として実施。
- 5) 福祉まつり事業〔鳴子〕・・・年間 2 回実施 延べ約1,000名対象
・鳴子文化祭への支援事業（展示、出店等）や川渡地区公民館祭りへ参加し、福祉ポスター展示等を通じて地域福祉事業や共同募金の周知など、地域福祉への啓発を目的として実施。

(9) 地域見守りネットワーク事業

- 1) いのちのバトン事業〔各支所〕
・・・通年随時実施 311 行政区 延べ3,684名登録
・地域の福祉関係者の協力のもと、要支援高齢者世帯等への定期的な訪問活動、あんしんカードを活用した緊急時の連絡体制整備について推進するとともに、社協が実施する地域福祉事業を通じて地域住民同士の「つながり」を醸成し、お互いに見守り、見守られる関係性を構築していくことを目的として実施。
- 2) 地域見守りネットワークフォローアップ研修事業
〔古川・松山・三本木・鹿島台・岩出山〕
・・・年間 6 回開催 延べ421名参加
・見守り活動協力者を対象に、見守り活動の実践事例紹介や情報の共有化を図る機会とし、今後の活動に繋げることを目的として研修会を開催。

- 3) 地域福祉活動推進助成事業〔本所〕 ・ ・ ・ 市内 17 単位民児協
・ 地域福祉事業に本会と協働し取り組む、民生委員児童委員協議会に対し
て活動助成金を交付し、見守り活動促進と本会地域福祉事業の連携推進
を目的として実施。
- 4) ふれあい訪問事業〔古川・松山・鳴子〕 ・ ・ ・ 延べ 824 名訪問
【歳末まごころ訪問】 ・ ・ ・ 年間 1 回実施
古川地域内の 80 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、年末に 1 年の
慰労と新年を無事に過ごせることを祈念するとともに、安否確認を兼ね
て地区民生委員等が正月セット（蒲鉾等）を持ちながら訪問を実施。
- 【サンサンふれあい訪問】 ・ ・ ・ 年間 1 回実施
松山地域内の地域見守りネットワーク事業登録世帯を対象に、年末に民
生委員と鉢花を持ちながら、安否確認を兼ねた訪問を実施。
- 【地域あんしん見守り事業】 ・ ・ ・ 通年随時実施
鳴子温泉地域内の住民を対象に、本会からの安心箱や命のバトンの活用
並びに、民生児童委員、社会福祉協力員、地域小中学校児童生徒等関係
機関との連携による訪問を実施しながら、地域住民が相互にふれあいを
深め、安心して暮らせる地域づくりを目的として実施。
- 5) ひとり暮らし高齢者のつどい事業
〔松山・三本木・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕
・ ・ ・ 年間 19 回開催 延べ 804 名参加
・ ひとり暮らし高齢者の仲間づくりや生きがいづくり、孤立感の解消に繋
げるとともに、民生委員児童委員の参加によって相互の信頼関係の構築
と見守り体制強化の推進を図ることを目的として開催。
- 6) ふたり暮らし高齢者交流事業〔三本木・田尻〕
・ ・ ・ 年間 3 回開催 延べ 75 名参加
・ 65 歳以上の高齢者夫婦を対象に、身近で生活に役立つ保健・栄養講話
や介護予防を兼ねたレクリエーションなどを取り入れながら、外出する
機会と他者との交流を図ることを目的として開催。
- 7) 見守り配食サービス事業〔鹿島台・岩出山・鳴子〕
・ ・ ・ 年間 14 回実施 延べ 1,078 食
・ 食生活の改善と安否確認を目的として、クリスマスやおせち料理などの
行事食や昼食の配食サービスを提供しながら見守り活動を実施。
- 8) ひとり暮らし高齢者安否確認事業〔三本木・鹿島台〕
・ ・ ・ 年間 35 回実施 延べ 1,687 名対象
・ ひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティア団体が作成する絵葉書等を
送付し見守り活動を推進するとともに、「地域見守りネットワーク事業」
の周知を図り、登録者の増加に繋げることを目的として実施。

9) 地域コミュニティ活動支援事業（温たまサロン）〔鳴子〕

・・・年間 8 地区実施

- ・ 65 歳以上の高齢者を対象に、地区ごとの自主的な活動が推進されることを目的として事業支援を実施するとともに、活動費の助成を実施。

10) 買い物支援事業〔鳴子〕・・・通年随時実施 46 名対象 協力 24 店舗

- ・ ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯、障害者世帯等の買い物困難者を対象として、鳴子地域内の商店等の情報が記載された『便利帳』の内容を差し替えるとともに、対象者から希望を募って買い物ツアーを実施。

11) 雪かき隊事業（スノーバスター）〔鳴子〕

・・・年間 1 回実施 ボランティア 119 名参加

- ・ 福祉課題である「除雪」における地域組織の取り組みに対し、ボランティアセンター機能と活動備品整備等を提供し、除雪困難者への支援と見守り活動を目的として実施。

12) 地域見守り情報交換会〔田尻〕・・・年間 1 回開催 73 名参加

- ・ 地域の福祉課題や現状調査の為に実施した福祉調査結果の報告や行政区で取り組んでいる福祉活動の事例紹介を目的として、情報交換会を開催。

(10) 高齢者福祉事業

1) 100 歳への花束贈呈事業〔各支所〕

・・・年間 27 回実施 延べ 27 名贈呈

- ・ 100 歳を迎えられた高齢者の方へ花束と記念写真、記念品の贈呈を実施。

2) 老人クラブ連合会等団体支援事業〔松山・鹿島台〕・・・通年随時実施

- ・ 老人クラブ連合会等の総会や役員会、関係機関との連携調整、スポーツ事業実施等への活動支援を目的として実施。

3) 老人クラブ連合会等助成事業〔松山・鹿島台・田尻〕・・・年間 3 回実施

- ・ 老人クラブ連合会等の活動推進を目的として、活動助成を実施。

4) シルバーフェスティバル事業〔古川〕

・・・年間 1 回開催 約 800 名参加

- ・ 古川地域の高齢者を対象に、大崎市民会館を会場として外出する機会づくりとするほか、教養講座「趣味の教室」の発表の場として各講座受講生同士が交流の場とすることを目的として開催。

5) 金婚の集い助成事業〔田尻〕

・・・年間 1 回実施

- ・ 田尻地域まちづくり協議会が主催しており、田尻地域独自事業の維持を目的として、祝賀会や記念撮影費用等の事業費の一部助成を実施。

(11) 福祉学習推進事業

- 1) おおさき福祉学習推進事業〔本所・各支所〕
・・・年間 9 回実施
・効果的な福祉学習を提供できるように、既存の福祉学習プログラムの見直しや新規プログラムを作成し、地域住民へ提供することを目的として、社協福祉学習担当職員を対象に実施。
- 2) おおさき福祉の心コンクール〔本所・各支所〕
・・・年間 1 回開催 545 作品応募
・大崎市内の小・中学校の児童・生徒を対象に、福祉の心を育む一環として福祉作文・ポスター・川柳を募集し、大崎市社協表彰式にて最優秀作品の発表、表彰を実施するとともに、展示会を通じて市民に対して、児童・生徒が感じる「福祉の心」を地域間で共有していくことを目的として開催。
- 3) 福祉・ボランティア活動協力校指定事業〔各支所〕
・・・年間 1 回実施 38 校指定
・大崎市内の小・中学校を対象に、福祉ボランティア協力校として指定し、学校内外での福祉活動の推進を目的として、助成を実施。
- 4) 福祉体験学習支援事業〔各支所〕
・・・年間 16 回実施 延べ1,112 名参加
・大崎市内の小・中学校、高校等に対して福祉体験学習への支援を実施。
・福祉体験学習事業や地域向けの福祉出前講座事業などにおいて使用する体験用具について、共同募金配分金事業を活用し整備を実施。
・「田尻絵手紙の会」の協力により、放課後児童クラブの小学生が作成する絵手紙を一人暮らし高齢者へ送付し、高齢者に対する思いやりの心を育むことを目的に実施。
- 5) 地域と学校の連携による福祉教育推進事業〔古川〕・・・年間 20 回実施
・児童生徒の福祉学習支援を通じて福祉に対する理解を深め、将来地域における福祉活動を担うことのできる人材育成を目指すとともに、学校と地域の橋渡しを社協が担うことで、地域と学校の合同による取り組みの機会を促し、当該地域の福祉力を高めることを目的として実施。
- 6) GAKUVOLAおおさき育成事業〔古川〕
・・・年間 7 回開催 46 名参加
・中学生以上の学生を対象に、登録学生に対して年間を通じたボランティア活動の機会を提供していくとともに、ボランティアへの理解を深め、活動の支援をするための研修会を開催。
- 7) ハッピースクール事業〔三本木〕・・・年間 2 回開催 延べ21 名参加
・三本木地域住民を対象に、地域福祉について理解や関心を促し、ボランティア人材の養成から地域の活動に繋げていくことを目的として開催。

- 8) あったか福祉学習事業「①学生ボランティア育成事業」〔岩出山〕
・・・年間 4 回実施 14 名登録
・岩出山高等学校ボランティア部と連携を図り、社協事業への参加を通して、将来的な地域の担い手の育成に取り組むことを目的として実施。
- 9) あったか福祉学習事業「②福祉出前講座事業」〔岩出山〕
・・・年間 82 回実施 延べ1,064 名参加
・地域コミュニティ活動の充実を目的として支援を実施。
- 10) あったか福祉学習事業「③福祉レクリエーション講座事業」〔岩出山〕
・・・年間 2 回開催 52 名参加
・参加者が地域でリーダーとして活動出来るよう支援し、地域資源として「あったか福祉出前講座」の登録ボランティアとなっていていただくことも視野に入れながら育成することを目的として開催。
- 11) あったか福祉学習事業「④福祉体験学習事業」〔岩出山〕
・・・年間 1 回実施 63 名参加
・学校と連携し、福祉学習や体験学習の支援を実施。
- 12) 音楽ふれあいコンサート事業〔鳴子〕・・・年間 1 回開催 140 名参加
・大崎市立鬼首小学校を会場に、ピアノ・ヴァイオリン演奏を通して学校生徒と地域住民を含め、多世代が共に音楽に触れあう機会づくりの提供を目的として開催。
- 13) 福祉教育推進事業 ～愛ちゃんと希望くんの募金活動～〔鳴子〕
・・・年間 1 回実施 11 名参加
・赤い羽根募金運動時期に合わせ、観光名所となる鳴子峡を訪れる方々に対して、地元中学生が募金運動を通じて福祉の心を涵養するとともに、改めて地域の魅力を感じてもらう機会とすることを目的として実施。

(12) 子育て支援事業

- 1) 子育て支援事業〔古川・松山・三本木・岩出山〕
・・・年間 11 回開催 延べ333 名参加
・子育て中の親子を対象に、子育てにおける不安や悩みなどの相談や仲間づくりなど、地域との繋がりを推進することを目的として開催。
- 2) 親子わくわくクリスマス事業【志田地域合同開催】
〔松山・三本木・鹿島台〕・・・年間 1 回開催 延べ87 名
・次代の地域づくりを担う子供とその親を対象に、事業への参加や交流を通して福祉事業に対する関心や理解と普及を図ることを目的として、ゲストによる歌やダンスなどの『参加型コンサート』を開催。

- 3) 図書の贈り物事業〔松山・鹿島台・岩出山・田尻〕
・・・年間 11 回実施 延べ567名・6施設
・将来を担う児童の健やかな成長を願い、検診時や保育所や幼稚園を通じて絵本や図書カードを贈呈することで、家族のふれあいに役立てて頂くことを目的として実施。
- 4) 子育て支援団体助成事業〔田尻〕
・・・通年随時実施 1 団体
・子育てサポーター「すまいるママ」へ活動支援並びに助成を通じて、子どもたちに楽しみとふれあいの大切さを伝えることを目的として実施。

(13) 障害者福祉事業

- 1) 障害者団体支援事業〔本所・各支所〕
・・・通年随時実施
・身体障害者福祉協会や障害児・者団体へ事務支援を実施。
・大崎市身体障害者福祉協会主催による障害者スポーツ大会に対して、本会職員・ボランティアによる協力・支援を実施。
- 2) 障害者団体助成事業〔松山・鹿島台・鳴子・田尻〕
・・・年間 4 回実施 延べ7 団体
・身体障害者福祉協会や授産施設、障害児・者団体へ団体助成を実施。
- 3) 志田地域障がい者交流事業【志田地域合同開催】〔松山・三本木・鹿島台〕
・・・年間 1 回開催 延べ187名参加
・志田地域の身障協会等が一同に会し、事業参加を通じて互いの知識や経験、価値観等を共有し交流を図ることを目的として開催。
- 4) 障害者交流事業〔松山・三本木・田尻〕
・・・年間 6 回開催 延べ94名参加
・児童や障害者等の様々な世代の住民が事業参加を通じて、互いの知識、経験、価値観等を共有することで住民相互による「福祉のまちづくり」に繋げることを目的として開催。
- 5) 障害福祉施設通所者への活動支援事業〔古川〕
・・・年間 1 回実施 13 施設対象
・障害福祉施設へ通所する方々の活動に対して、共同募金配分金事業を活用し、活動助成を実施。
- 6) 特別支援学級・通級指導教室児童生徒への活動支援事業〔古川〕
・・・年間 1 回実施 17校58教室対象
・古川地域内の小中学校内にある特別支援学級や通級教室の児童生徒らの活動に対して、共同募金配分金事業を活用し、活動助成を実施。

7) 大崎市古川障害者地域活動支援センター運営事業〔古川〕

・・・通年事業実施 利用者登録49名

- ・ 障害者の方々に各種の生活活動や社会活動を通じて、働く喜びや充実感のある社会生活、社会的自立の促進を目的とし、就労することによって自立した生活が営めるよう、生活指導などの支援を実施。

(14) 特色ある地域福祉事業

1) 歳末たすけあい金品贈呈事業〔松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

配分先（個人：151名、世帯：105世帯、施設：2ヶ所）

・・・年間 1 回実施

- ・ 民生委員児童委員と連携した社会福祉調査の結果を受けて、地域の要保護世帯への見守りと地域における支えあいの気運を高めることを目的として、継続的な生活支援の一助となるよう実施。

(15) 介護職員初任者研修事業

1) 介護職員初任者研修〔本所〕

・・・年間 1 回開催 10名受講

- ・ 大崎市における福祉マンパワーの確保と、専門的福祉人材の養成を目的として、研修講座を開催。

3. 生活援助事業

厳しい経済・雇用環境の中で、福祉制度としての様々なニーズの援助が必要となった世帯に支援を行うことにより、生活の安定や生活意欲の助長を図ることを目的として、各種の生活援助事業を実施しました。

(1) 貸付事業

1) 生活福祉資金貸付事業〔古川〕（宮城県社協より業務一部受託）

・・・年間 0 件貸付 0円

- ・ 所得の少ない世帯や障害がある方や高齢者の方が同居する世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援することを目的として実施。

2) 生活安定資金貸付事業〔古川・三本木・鹿島台・岩出山・田尻〕

・・・年間 6 件貸付 280,000円

- ・ 低所得世帯で生活費、医療費、修学費、その他これらに準ずる経費に困窮する方に対し、経済的自立及び生活安定を図ることを目的として実施。

3) 愛の金庫貸付事業〔古川・三本木・鹿島台・鳴子・田尻〕

・・・年間 20 件貸付 149,000円

- ・大崎市内在住で生活保護法の被保険者並びにこれに準ずる方に対し、貸付をすることで、世帯更生の一助とすることを目的として実施。

(2) 災害見舞金支給事業〔古川・田尻〕【宮城県共同募金会へ申請】

・・・年間 10 件支給 300,000円

- ・火災等の災害により、家屋又は住戸等に全焼、半焼又は消火冠水のいずれかの被害を受けた世帯に対し、災害見舞金を支給することで生活再建を図ることを目的として実施。

(3) 日常生活自立支援事業（まもり一ぶ）〔各支所〕（宮城県社協より業務一部受託）

・・・34名利用登録 延べ759回支援 支援員20名

- ・生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障害者の福祉サービス利用の援助、日常生活費等の金銭管理、書類保管等のサービスを図りながら、日常生活への支援を目的として実施。

4. 大崎市受託事業

大崎市からの高齢者等施策事業の委託を受け、高齢者が住み慣れた地域で、生活が継続できるよう事業を実施しました。

(1) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業（シルバーハウジング）〔古川〕

・・・通年事業実施 14世帯対象

- ・高齢者世話付住宅に居住する60歳以上の世帯に対して、生活援助員の派遣を通して生活支援を実施。

(2) 地域介護予防活動支援事業「高齢者の集い事業」〔各支所〕

・・・年間 1,795 回開催 延べ28,574名参加

- ・一般高齢者を対象とした介護予防対策として、地区の集会所等で高齢者の自主的な介護予防の実施へと繋がる活動支援を実施。

(3) 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

・・・年間 400 回開催 延べ5,455名参加

- ・居宅に閉じこもりになりがちな高齢者を対象に、集い等の中で生きがいや健康づくりに繋げることを目的として、介護予防活動事業を開催。

(4) 会食サービス事業〔各支所〕・・・年間 317 回開催 延べ6,475名参加

- ・65歳以上の在宅高齢者に対し、会食の機会を提供するとともに、食生活の向上・健康維持等へと繋げることを目的として、研修会等を実施。

(5) 高齢者配食サービス事業〔松山〕(再掲)

- ・・・年間延べ 144 回実施 延べ2, 243 名利用
- ・ 高齢者のみの世帯等を対象に、食生活の向上や健康維持を図るとともに、安否確認を目的として、配食(弁当)サービスを実施。調理及び配達については地域ボランティアの協力により実施。

(6) 家族介護支援レスパイト事業(通所介護・短期入所施設)

- 通所介護〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕・・・実績なし
- 短期入所施設〔古川・特養敬風園〕・・・実績なし
- ・ おおむね65歳以上の在宅高齢者を介護している家族が、緊急の事由により介護ができなくなった場合に、家族に代わって施設等で一時的に介護を行うことを目的として実施。

(7) 移動入浴車派遣事業〔古川〕

・・・年間延べ 53 回派遣

- ・ 在宅において入浴することが困難な身体障害者に対し、入浴車を派遣し入浴サービスを提供することを目的として実施。

(8) 移動支援事業〔古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻〕

・・・実績なし

- ・ 屋外での移動に困難がある在宅の障害(児)者に対し訪問介護員を派遣して、外出を支援することを目的として実施。

(9) 介護予防支援事業〔各支所〕

・・・年間 4,028 件作成

- ・ 大崎市地域包括支援センターからの委託を受けて、利用者のアセスメントや介護予防サービス計画の作成を実施。

(10) 地域包括支援センター運営事業

- ・ 地域の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として包括的支援事業(①総合相談支援事業 ②権利擁護事業 ③包括的継続的ケアマネジメント支援業務)及び指定介護予防支援事業を3地域(古川・田尻・玉造)で実施。
- ・ 総合相談支援事業 ・・・年間相談件数延べ 10,121 件
- ・ 権利擁護事業 ・・・年間延べ 463 件
- ・ 包括的継続的ケアマネジメント業務支援 ・・・年間延べ 159 件

5. 指定管理者制度による指定事業

多様化する住民ニーズに対して、より効果的、効率的に対応するとともに、住民サービスの向上へと繋げることを目的として、事業を実施しました。

(1) 大崎市古川老人福祉センター管理・運営事業

- 1) 教養講座「趣味の講座」・・・年間 768 回 17, 132 名受講
・高齢者の趣味活動を通じての仲間づくりや生きがいづくりの増進に繋げることを目的として、様々な分野の19教室を設け教養講座を開講。
- 2) 入浴サービス事業・・・年間 238 回 6, 290 名利用
・古川老人福祉センター内の浴室にて入浴サービスを提供。
- 3) 機能回復訓練事業・・・年間 243 回 3, 533 名利用
・疾病や負傷等により、身体機能が低下している在宅の療養者に対し、機能回復訓練を実施。
- 4) マイクロバス「おおぞら」管理・運行事業
・・・年間 224 回運行 延べ2, 827 名利用
・老人福祉センター教養講座利用者等の送迎を実施。
- 5) その他の大崎市老人福祉センター管理・運営事業・・・通年随時実施
・生活健康相談事業、生業就労指導事業、老人クラブ支援事業、ボランティア育成事業、施設管理事業、作品展示会、世代間交流事業等を実施。

(2) 大崎市鹿島台長寿生活支援センター「ゆうゆう館」管理・運営事業

- ・大崎市鹿島台地域「ゆうゆう館」施設の管理運営及び各種介護サービス事業を実施。

(3) 鳴子デイサービスセンター管理・運営事業

- ・大崎市鳴子温泉地域「鳴子デイサービスセンター」施設の管理運営及び各種介護サービス事業を実施。

(4) オニコウペデイサービスセンター管理・運営事業

- ・大崎市鳴子温泉地域「オニコウペデイサービスセンター」施設の管理運営及び各種介護サービス事業を実施。

(5) 大崎市古川農村環境改善センター管理・運営事業

- ・大崎市古川地域「大崎市古川農村環境改善センター」施設の管理運営を実施。

6. 共同募金運動事業

住民互助のたすけあいを基本とし、地域住民の理解を得ながら、透明性のある誰もが参加しやすい共同募金運動の展開と情報公開を行い、募金事業の推進に努めました。

(1) 赤い羽根共同募金運動〔各支所〕

- ・ 10月1日から全国統一で実施される赤い羽根募金運動を通じ、地域福祉の推進や福祉施設、福祉団体支援等を実施。

募金実績額： 16,278,920円

(運動期間：10月1日～12月31日)

(2) 歳末たすけあい運動〔各支所〕

- ・ 地域住民によるたすけあいを基調とし、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができるよう、様々な福祉活動を重点的に実施。

募金実績額： 9,423,957円

(運動期間：12月1日～12月31日)

(3) その他の募金（ハートフルベンダー募金）〔古川・鹿島台・田尻〕

- ・ 飲料自動販売機を募金箱として活用する事業で、寄せられた募金は、被災地支援や県内の地域福祉の推進に役立てることを目的として実施。

募金実績額： 186,714円